

(C) Copyright CANVASs Co., Ltd.

=====  
【ソフト名】 SST G1Pro アップデートインストーラ  
【対象製品】 SST G1 Pro 日本語版 / 英語版  
【登録名】 SST G1 Pro Ver.3.1.19  
【アプリケーション名】 setup.exe  
【著作権者】 株式会社カンバス  
【動作環境】 Microsoft Windows 10 / 11 / 日本語版 / 英語版  
【配布条件】 1) ダウンロードしたファイルの再配布を禁止します。  
2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。  
=====

<Ver.3.1.19> 2023.5

## 本バージョンアップによる変更内容

- 1) Ver1.1.39 以下をご利用の方へ：アップデート前に必ずお読みください
- 2) SSTG1Dub をご利用のユーザー様へ：必ずお読みください
- 3) 機能追加・仕様変更
  - －文字カウントのリスト登録
  - －Excel エクスポートの出力フィールド追加
  - －タイムコードの入力欄
  - －映像ファイル情報出力
  - －CineCanvas DLP Cinema XML(Interop)エクスポート カラーモード、フェードのタイム表記追加
  - －iT file(iTunes Timed Text profile)のエクスポート 改行コード変更
  - －IMSC1.1(TTML2)のエクスポート Disney+仕様追加
- 4) 機能修正
- 5) Ver3.1.13 をご利用のユーザー様へ：波形データ削除のお願い
- 6) アップデート手順 (Ver3.1.1 未満からのアップデート)
- 7) アップデート手順 (Ver3.1.1 以上からのアップデート)
- 8) 再インストール時のチケットに関する注意点
- 9) 再インストール後にショートカットキー等の設定を引き継ぐための注意点

## 1) Ver1.1.39 以下をご利用の方へ：アップデート前に必ずお読みください

### ■アップデート時に出るメッセージについて

Ver1.1.39 以下からアップデートする際は、すでにインストールされている SSTG1Pro をいったんアンインストールする手順が実行されます。

アップデート (setup.exe) を実行すると「**SSTG1 Pro がインストールされています。アンインストールを開始してよろしいですか？**」とメッセージが出ますので、[はい]を選択し、アンインストールを開始してください。そのまま手順通り進めると、アップデートが完了します。

なお、ここでアンインストールを実行しても、お客様が設定されたユーザー設定・フォーマット情報・ショートカットキー設定などが消えることはありません。

詳細な手順は **6) アップデート手順 (Ver3.1.1 未満からのアップデートの場合)** をご覧ください。

## 2) SSTG1Dub をご利用のユーザー様へ：必ずお読みください

SSTG1Dub を同一 PC でご利用のお客様は、必ず SSTG1Dub も **Ver1.1.9 以上** にアップデートしていただきますようお願いいたします。片方だけをアップデートしてしまうと、アップデートしていないソフトでの映像再生に不具合が生じます。

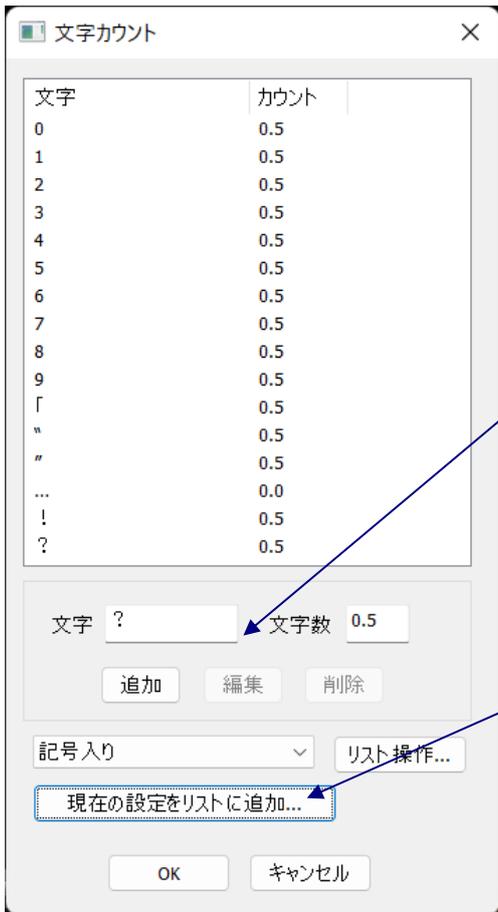
### 3) 機能追加・仕様変更

#### ●文字カウント

—文字カウントがリストに登録できるようになりました。

カウントルールが異なる作業をする場合、設定を切り替えて使うことができます。

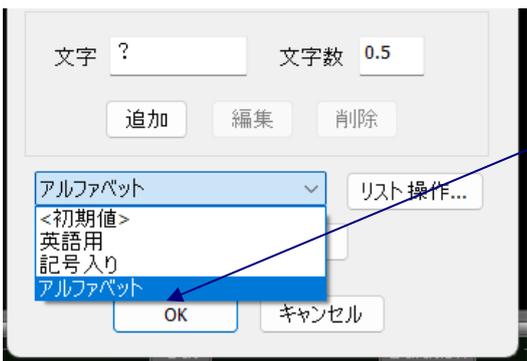
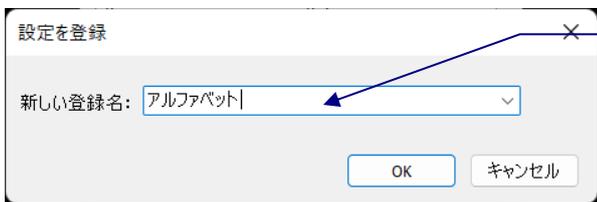
#### 《文字カウントのリスト登録》



1. 追加・削除したい文字を登録します。

2. [現在の設定をリストに追加]をクリックします。

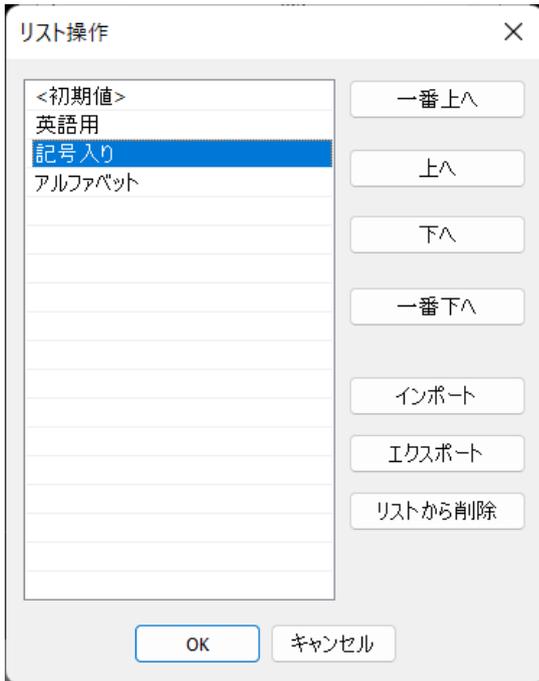
3. 登録名を入力して[OK]をクリックすると、その名前でリスト登録されます。  
既存のリストを上書きしたい場合は、プルダウンから上書きしたいリスト名を選択してから[OK]をクリックしてください。



4. 登録したリストがプルダウンから選択できるようになります。

## 《文字カウントのインポート・エクスポート》

1. [リスト操作]をクリックし、リスト操作画面を開きます。



[エクスポート]をクリックすると、文字カウントを txt ファイルに出力することができます。出力した txt ファイルは[インポート]をクリックすると取り込むことができるので、共有するのに便利です。

※リストを登録や削除・インポート後、文字カウントウィンドウを[OK]以外で閉じてしまうと操作がキャンセルされ、リストに反映されません。反映するには必ず[OK]で閉じるようにしてください。

### ●Excel エクスポート

—下記のフィールドを出力できるようになりました。

出力するフィールド	出力値	説明
フォント種類	*	個別設定が存在する行のみ表示 字幕セルの文字も該当のフォントで表示される
フォントサイズ	*	個別設定が存在する行のみ表示
フォント色	*	個別設定が存在する行のみ表示
エッジの種類	*	個別設定が存在する行のみ表示
エッジサイズ	*	個別設定が存在する行のみ表示
エッジ色	*	個別設定が存在する行のみ表示
組文字	組文字設定されている文字	例：「12月」の「12」に組文字が設定されている場合、「12」と表示

マスク	*	
フェードイン	*	
フェードアウト	*	

## 従来

## 本バージョンより

※出力するフィールドが多いほど、出力には時間がかかります。

### ●タイムコード入力

ータイムコード入力時の入力モードを、強制的に日本語入力 OFF にしました。

Microsoft IME の不具合により、日本語入力 ON の状態でタイムコード基本設定やユーザー設定等のタイムコードを入力すると、コロンが消えてしまう問題がありました。

本件について、タイムコード入力時に日本語入力を強制的に OFF にするよう対応いたしました。

なお、本件は Microsoft IME のみで発生する問題であり、それ以外の日本語入力システムをご利用の場合は発生いたしません。

## ●映像ファイル情報出力

－[ファイル]－[映像ファイル情報]から映像ファイルの基本情報を出力できるようになりました。



映像関連のトラブル(スムーズに再生できない、タイムコードが正しく同期できないなど)があった際、下記の対応ができるようになります。

- ① カンバスホームページに掲載している推奨コーデックと比較して大きく外れている場合、推奨コーデックに収まるよう再エンコードしてください。  
推奨コーデックはカンバスホームページに掲載しています。  
<https://canvass.co.jp/sstg1series/requirement/#link-sstg1-movie>
- ② カンバスへお問い合わせの際、[ファイル出力]で出力した映像情報ファイルをお送りいただくと、原因調査の手がかりになり、早期解決につながります。  
※この情報だけで判断できない場合は、別途情報の提供をお願いすることがあります。

●CineCanvas DLP Cinema XML (Interop) のエクスポート ※有償オプション

ー出力画像のカラーモードを「インデックスカラー」または「RGB カラー」の選択式で出力できるようにしました。

ーフェードのタイミングについて、タイムの表記を「HH:MM:SS:TTT」または「TTT」の選択式で出力できるようにしました。

●iTT file(iTunes Timed Text profile)のエクスポート

ー改行コードを、有償オプションの iTT (ルビ・縦字幕対応) のエクスポートと同じになるよう、下記のように変更しました。

変更前) <br></br>

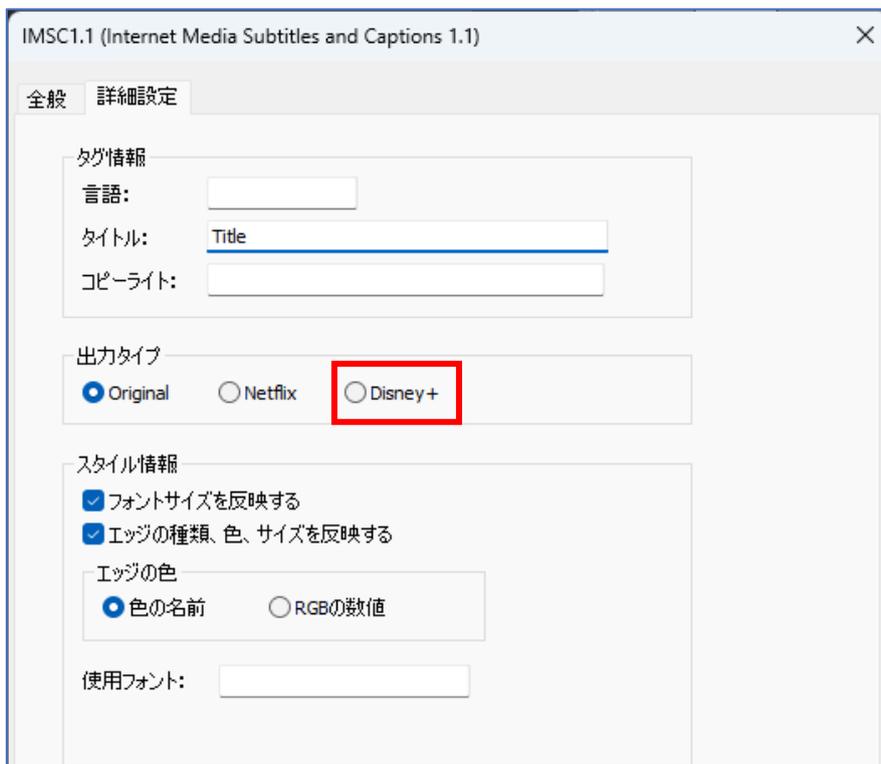
↓

変更後) <br />

●IMSC1.1(TTML2)のエクスポート ※有償オプション

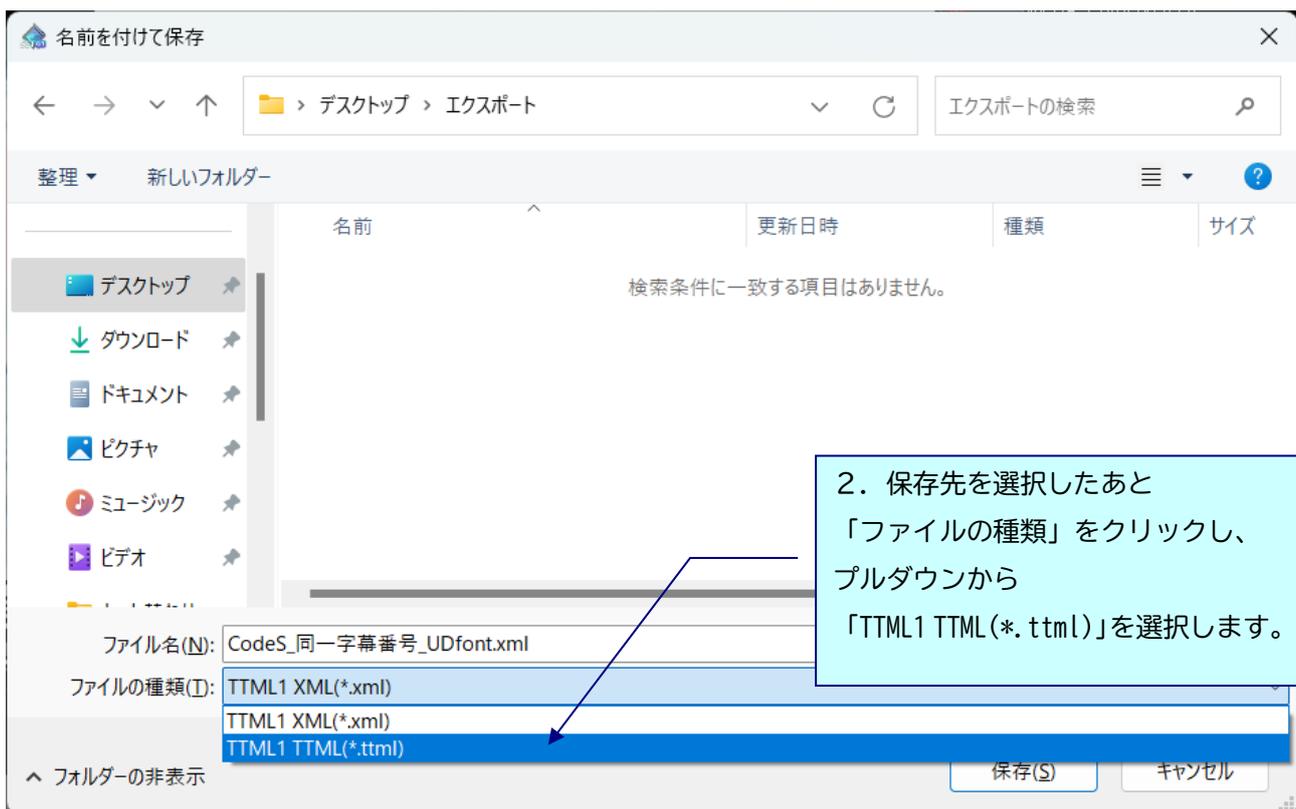
ーDisney+の納品仕様に従って出力できるようになりました。本エクスポートは Disney+での配信に対応した IMSC1.1 ファイルになります。

※出力時には、拡張子を「. ttml」に変更してから出力してください。(次ページ参照)





1. 保存先を選択する[...]ボタンをクリックします。



2. 保存先を選択したあと「ファイルの種類」をクリックし、プルダウンから「TTML1 TTML(\*.ttml)」を選択します。

## 【共通】

sdb ファイルに設定可能な項目のうち、下記については IMSC1.1 の仕様上、設定項目が存在しないため、エクスポートしたファイルには反映されません。

### IMSC1.1 ファイルに反映されない項目

- ・カーニング・レディング
- ・フォントの幅
- ・ルビのサイズ、幅、エッジサイズ、「斜体を本文に合わせて移動」設定
- ・「半角スペースの値を半分にする」設定
- ・行配置を決定するのに認識されない文字
- ・上揃え
- ・「ルビをベースライン内に収める」設定
- ・word 形式の縦字幕
- ・ベースラインの値
- ・フェードイン・アウト →IMSC1.1 の仕様上、設定項目は存在しますが、SSTG1Pro からエクスポートしたファイルには反映されません。

## 【Netflix / Disney+ 共通】

NETFLIX・Disney+の IMSC1.1 の仕様では、W3C の IMSC1.1 の仕様で定義可能な項目のうち、一部はサポート対象外となります。このため、以下の項目は通常の IMSC1.1 エクスポート機能を使用すれば反映されますが、NETFLIX 用・Disney+用 IMSC1.1 では反映されません。

### NETFLIX 用・Disney+用 IMSC1.1 ファイルに反映されない項目

- ・フォントの種類・サイズ・色
- ・エッジの種類・サイズ・色
- ・ルビの配置
- ・ルビのレディング情報
- ・マスク(座布団)の情報
- ・右から左に読む
- ・縦字幕の際に、左から右へ改行

今後、各社の仕様変更により、上記「反映されない項目」は変わる可能性があります。

【Disney+ のみ】

Disney+の IMSC1.1 の仕様では、W3C の IMSC1.1 の仕様で定義可能な項目のうち、一部はサポート対象外となります。このため、以下の項目は通常の IMSC1.1 エクスポート機能を使用すれば反映されますが、Disney+用 IMSC1.1 では反映されません。

Disney+用 IMSC1.1 ファイルに反映されない項目

- ・自由位置

今後、同社の仕様変更により、上記「反映されない項目」は変わる可能性があります。

## 4) 機能修正

－映像ファイルの代わりに音声ファイル (.wav、mp3) を開こうとすると、ソフトが終了してしまう問題を修正しました。

－映像再生直後や字幕の分割直後などに、本来ならアクティブになっているはずのツールバーのアイコン（表示位置・行配置やマスク、自由位置など）がアクティブになっていない問題を修正しました。

－ソフトウェアの言語設定を英語にすると、メニュー等の一部の文字が切れていた問題を修正しました。

### ●SST プロジェクトのインポート

－エラー時に出力される ImportLog の先頭行にインデックスが出力されない問題を修正しました。

### ●見直し用リスト (Excel) のエクスポート

### ●申し送りリストのエクスポート

### ●見直し用リスト (txt) のエクスポート

－Ver3.1.16 より、出力範囲を以下に指定した際に、テキストが入力されていない空の字幕は行自体が出力されなくなっていたため、出力されるよう修正しました。

- ・ 現字幕を出力する
- ・ エクスポート範囲（インデックスで指定）

### ●SubRip Text のエクスポート

－In 点または Out 点が特定のタイムになった際、ごくまれに秒数が 60 秒 (XX:XX:60.XXX) で出力されることがある問題を修正しました。

### ●AAF エクスポート ※有償オプション

－Insert キーや字幕ウィンドウの右クリックメニュー等でリストの最後に追加される空のデータ（字幕ウィンドウには枠が存在するが、波形ウィンドウ上にはスポッティングが存在しないデータ）がある状態で、静止画ファイル名のつけ方に「出力ファイル名+字幕番号」を指定して AAF を出力すると「引数が正しくありません」とエラーが出る問題に対応しました。本バージョンから空のデータは無視して出力されるようになります。

## 5) Ver3.1.13 をご利用のユーザー様へ：波形データ削除のお願い

※Ver3.1.12 以前、Ver3.1.14 以降をご利用のユーザー様には関係ございません。

Ver3.1.13 で再生機構のアップデートを行いました但不具合が発生したため、Ver3.1.14 で以前のバージョンの再生機構に戻しました。このため、現在 Ver3.1.13 をご利用中のユーザー様は、生成した波形データを一度削除し、本バージョンで波形データを生成し直していただくようお願いいたします。

### 【波形データの再生成方法】

※映像ファイルは開かない状態で行ってください

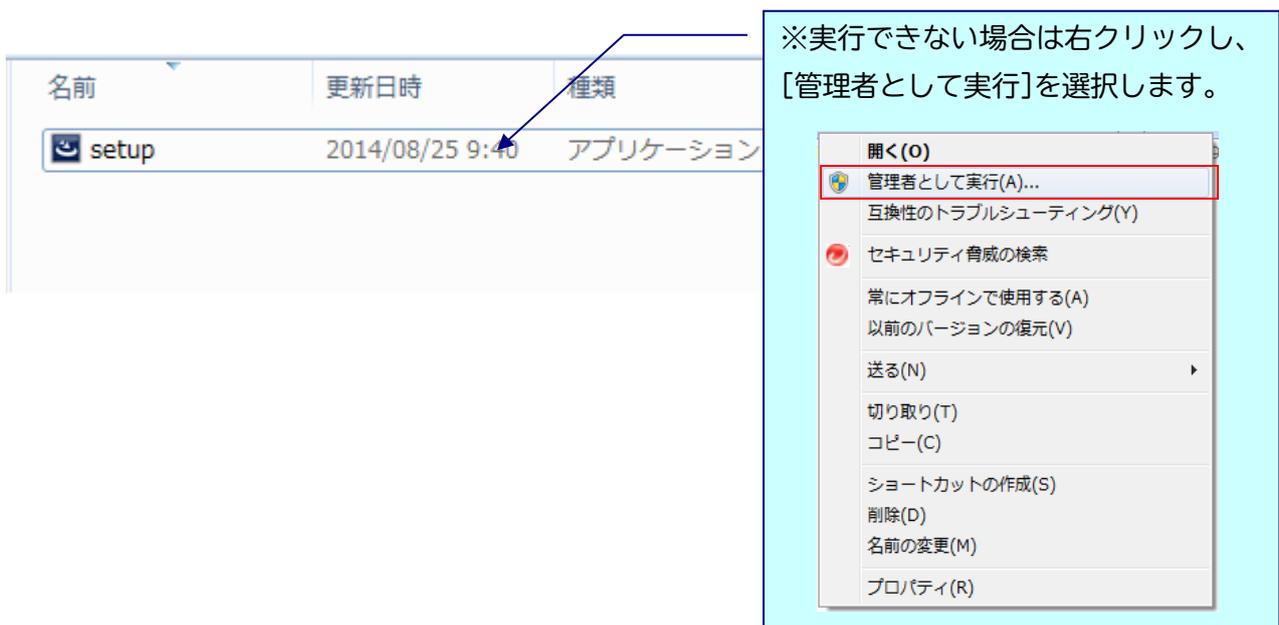
- ①[設定]→[ユーザー設定]→[メンテナンス]タブ [波形データファイルの保存先フォルダ]のフォルダを開くボタンをクリックして波形データの保存先フォルダを開いてください。
- ②[Normal]フォルダを削除するか、切り取りで別のフォルダに移動させてください。  
※[DSMode]フォルダは削除不要です。
- ③映像を開き直すと波形データが自動生成されます。（新再生モードの場合のみ）

## 6) アップデート手順 (Ver3.1.1 未満からのアップデート)

⚠ アップデートする時は、dongleをさし込まないでください！

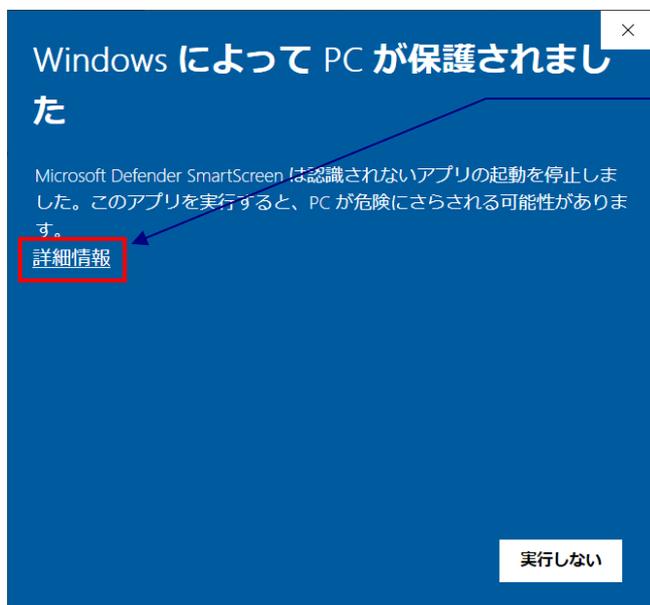
⚠ Ver3.1.1 以上からのアップデートの場合は 7) をご覧ください

1. ダウンロードしたファイルを**解凍**または**展開**し、「01\_SSTG1Pro」フォルダ内にある[setup (.exe)] をダブルクリックします。

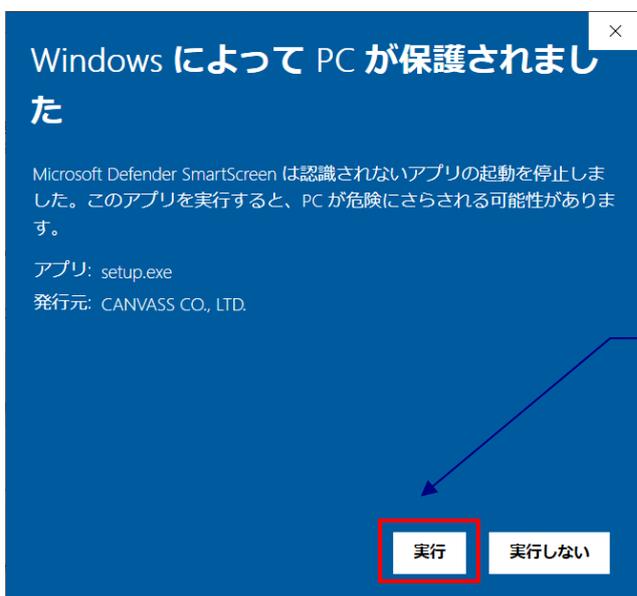


**!** 実行時に「Windows によって PC が保護されました」と出る場合

ダウンロードした PC のセキュリティ設定によっては下記の画面が出る場合がありますので、手動で実行を許可してください。

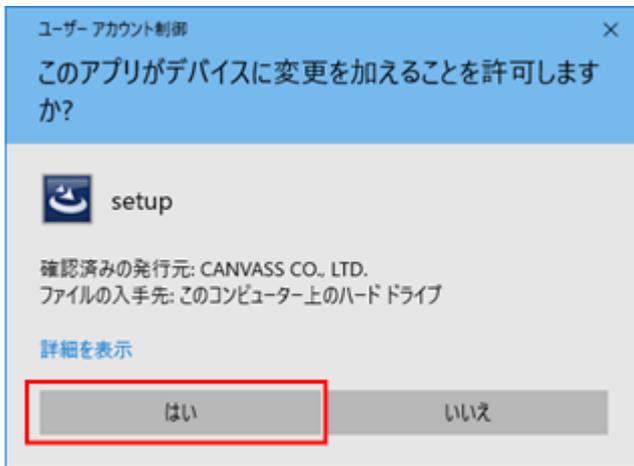


[詳細情報]をクリックします。

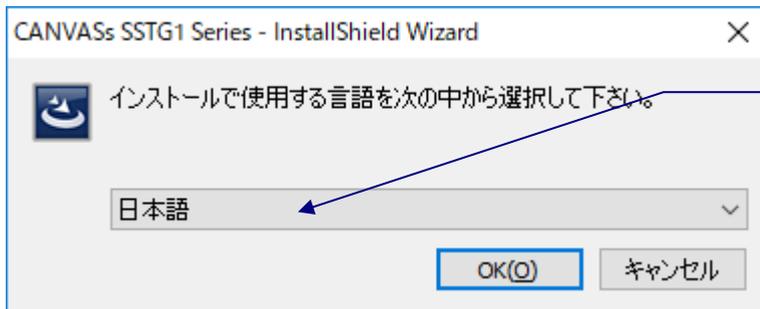


[実行]をクリックします。

**!** 実行時に「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合  
表示された場合は、[はい]をクリックし次へ進んでください。

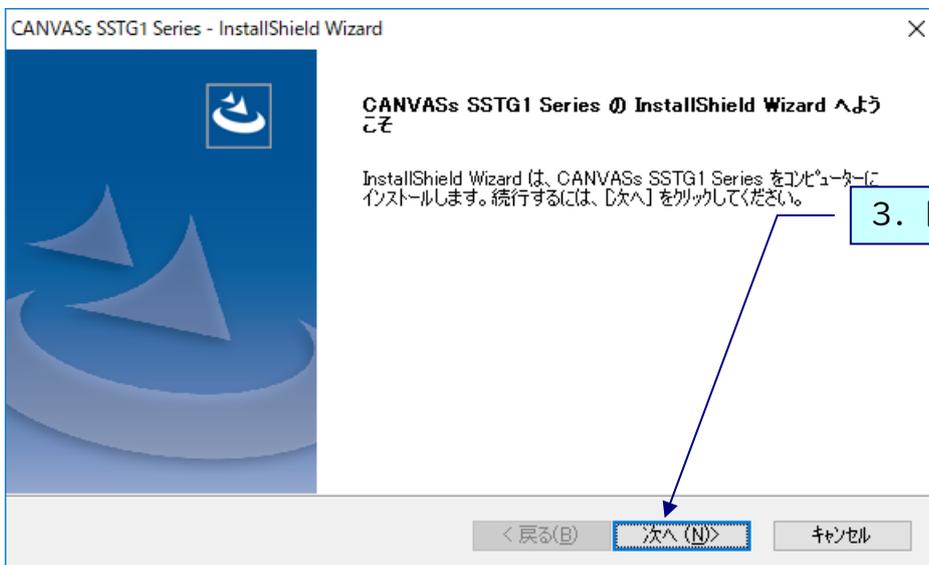


※黒い画面が出たのち、以下の画面がすぐに出ない場合があります。  
操作を行わず、画面が出るまでしばらくお待ちください。

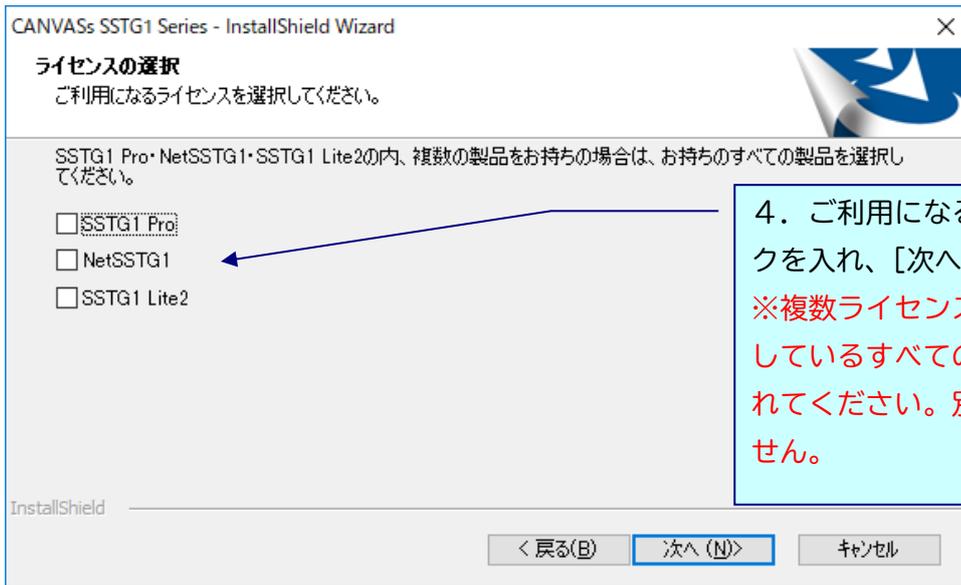


2. プルダウンから言語を選択し、[OK]をクリックします。

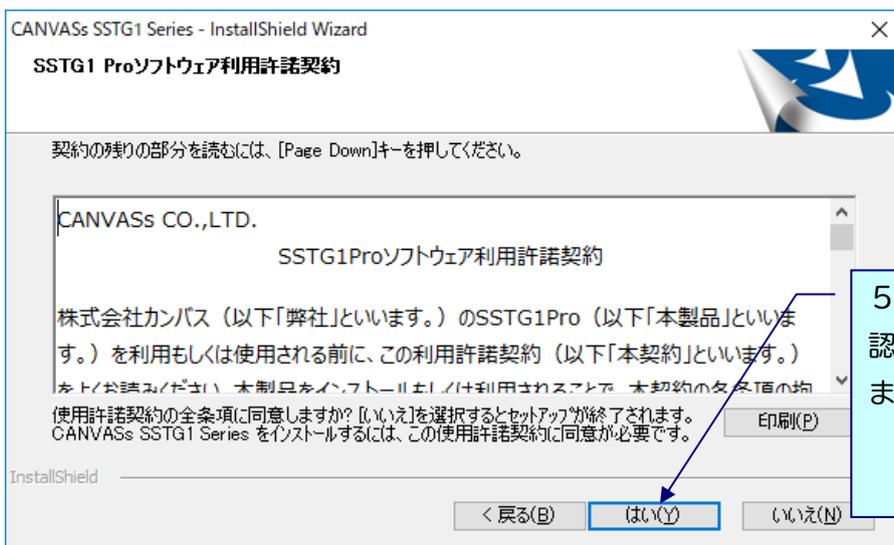
※以下は「日本語」を選択した場合の画面ですが、内容は英語の場合も同様です。



3. [次へ]をクリックします。

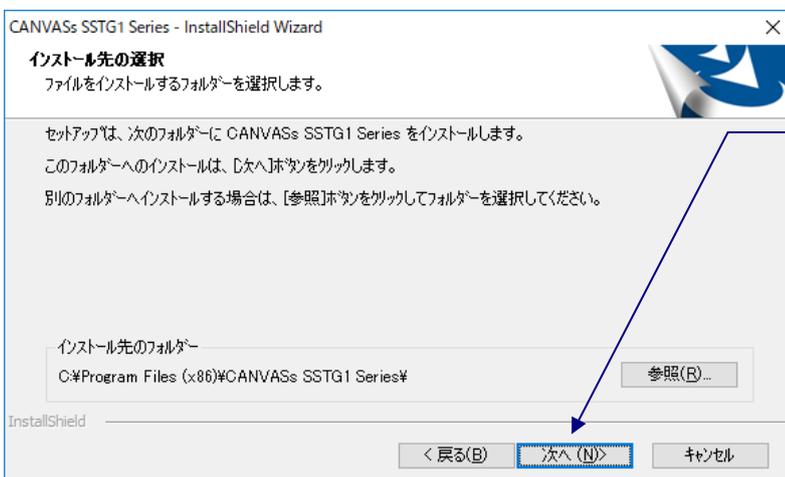


4. ご利用になるライセンスに正しくチェックを入れ、[次へ]をクリックします。  
※複数ライセンス所持されている場合、所持しているすべてのライセンスにチェックを入れてください。別々にアップデートはできません。



5. [利用許諾契約]の内容をご確認いただき、[はい]をクリックします。

**!** 4で複数ライセンス選択していた場合、各ライセンスの利用許諾契約が表示されます。

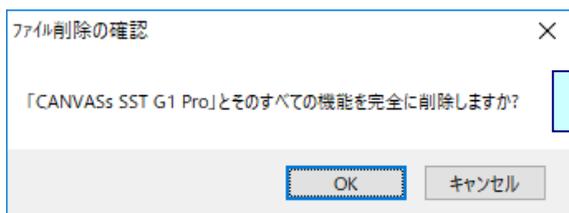


6. [次へ]をクリックします。

下記のメッセージが出ますので[はい]をクリックし、アンインストールを実行してください。  
※フォーマット情報、ショートカットキー設定などは消去されません。

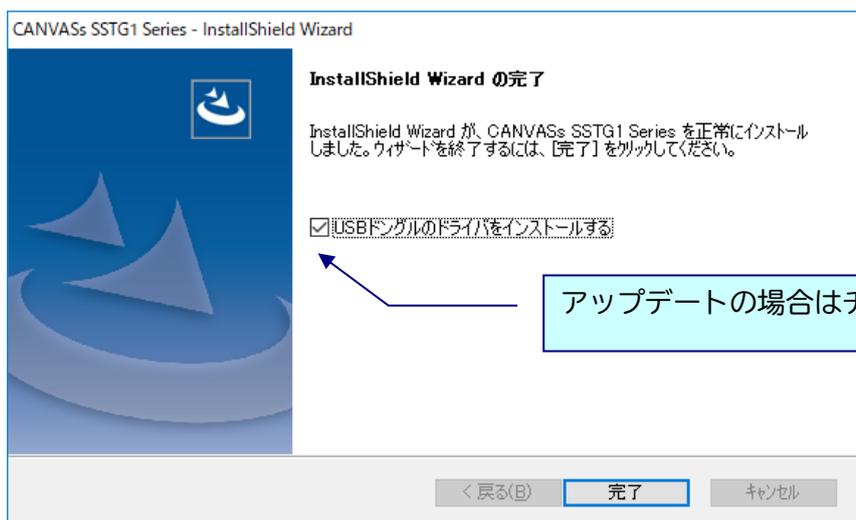


[はい]をクリック



[OK]をクリック

7. インストールが完了すると、下記画面が表示されます。



アップデートの場合はチェックを外してください。

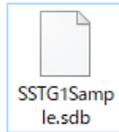
「USB ドングルのドライバをインストールする」のチェックを外し、[完了]をクリックしてインストールを終了してください。

**⚠ アップデート完了後は必ずパソコンの再起動を行ってください。**

※Ver3.1.1 から、プログラムの名前が一部で「SSTG1 Series」と表示されます。  
ソフトをアンインストールする際は、「CANVASs SSTG1 Series」を選択してください。

また、[ヘルプ]–[バージョン情報]に表示されるプログラム名も「CANVASs SSTG1 Series」となりました。お問い合わせの際は、こちらのプログラム名とバージョン情報をお知らせください。

 アップデート後に sdb ファイルのアイコンが白くなってしまう場合



アップデート後、sdb ファイルのアイコンが白くなってしまった場合は、下記の方法でプログラムの関連付けを行ってください。

**【方法 1】**

白いアイコンをダブルクリックすると、「このファイルを開く方法を選んでください」とプログラムの選択画面が表示されます。その中に「SSTG1Unified.exe」が存在する場合はそちらを選択し、「常にこのアプリを使って、sdb ファイルを開く」にチェックを入れた状態で [OK] をクリックしてください。

**【方法 2】**

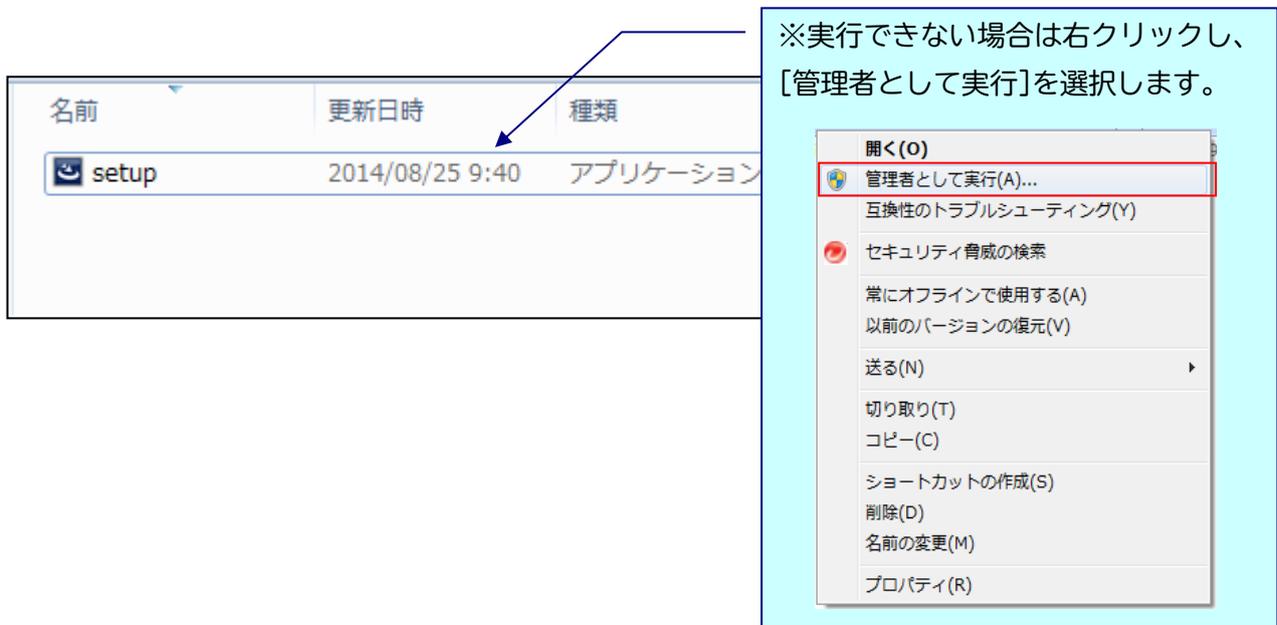
方法 1 でプログラムの選択画面に「SSTG1Unified.exe」が出ない場合は、白いアイコンの sdb ファイルを右クリック→プロパティを開いてください。

- ① [全般] タブの「プログラム」の [変更] をクリック
- ② 「このファイルを開く方法を選んでください」とプログラムの選択画面が表示されます。その中に「SSTG1Unified.exe」が存在する場合はそちらを選択し、「常にこのアプリを使って、sdb ファイルを開く」にチェックを入れた状態で [OK] をクリックしてください。
- ③ ②にて選択画面に「SSTG1Unified.exe」が出ない場合は「その他のアプリ」をクリックしてください。「SSTG1Unified.exe」が存在する場合はそちらを選択してください。
- ④ ③にて選択画面に「SSTG1Unified.exe」が出ない場合は「この PC で別のアプリを探す」をクリックしてください。
- ⑤ C ドライブ配下の [Program Files (x86)] – [CANVASs SSTG1 Series] フォルダを開きます。
- ⑥ 「SSTG1Unified.exe」を選択し [開く] をクリックしてください。

## 7) アップデート手順 (Ver3.1.1 以上からのアップデート)

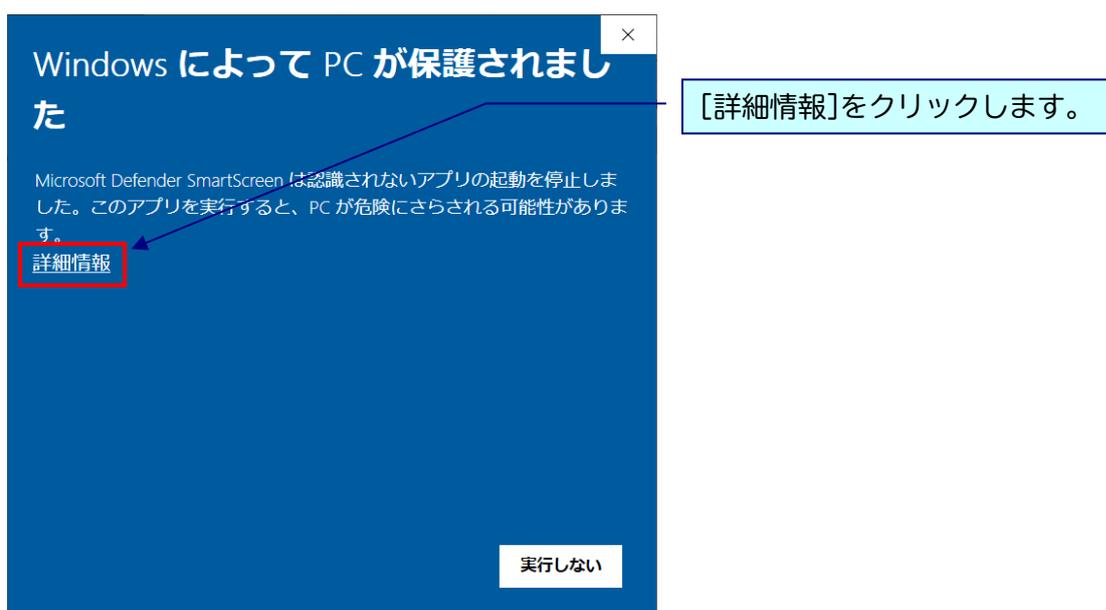
**!** アップデートする時は、**ドングルをさし込まないでください!**

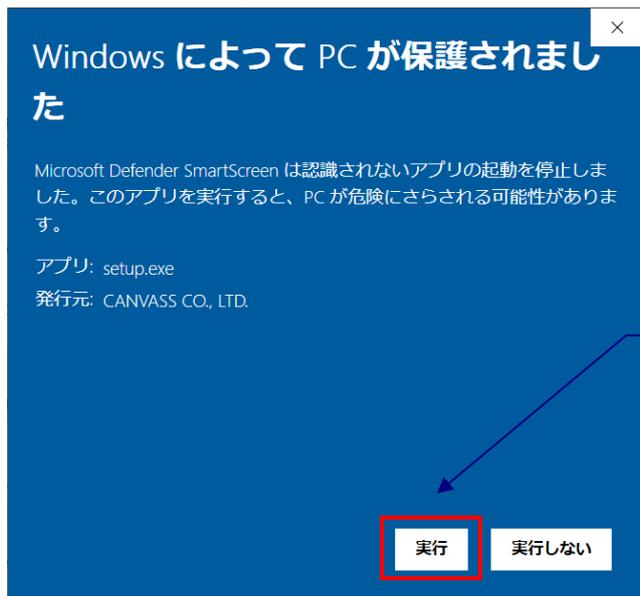
1. ダウンロードしたファイルを**解凍**または**展開**し、フォルダ内にある[setup (.exe)]をダブルクリックします。



**!** 実行時に「Windows によって PC が保護されました」と出る場合

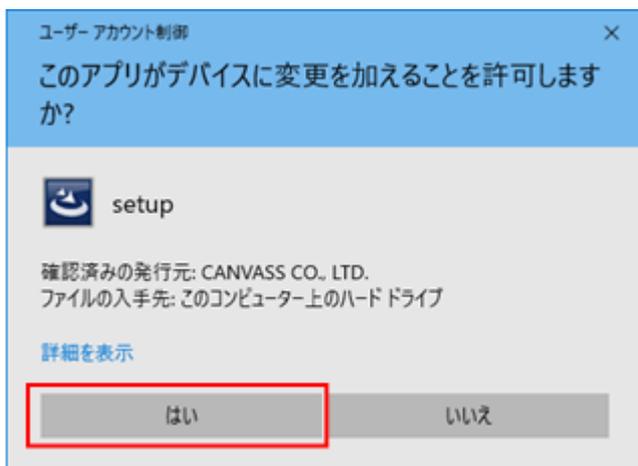
ダウンロードした PC のセキュリティ設定によっては下記の画面が出る場合がありますので、手動で実行を許可してください。





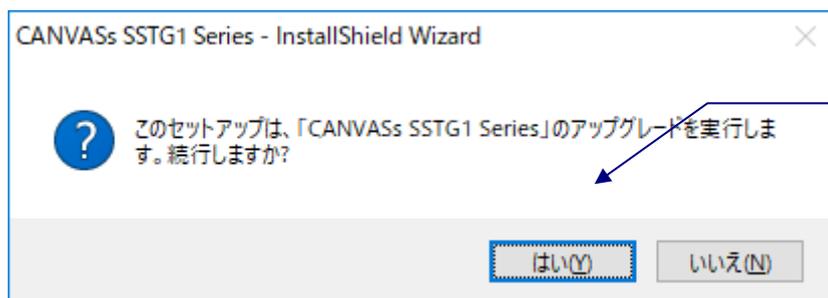
[実行]をクリックします。

**!** 実行時に「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合  
表示された場合は、[はい]をクリックし次へ進んでください。

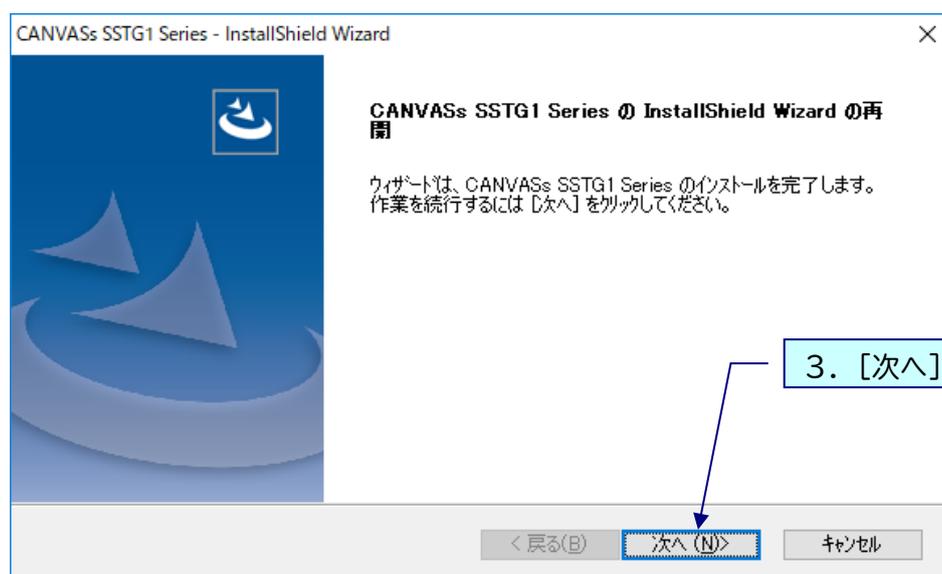


※黒い画面が出たのち、以下の画面がすぐに出ない場合があります。

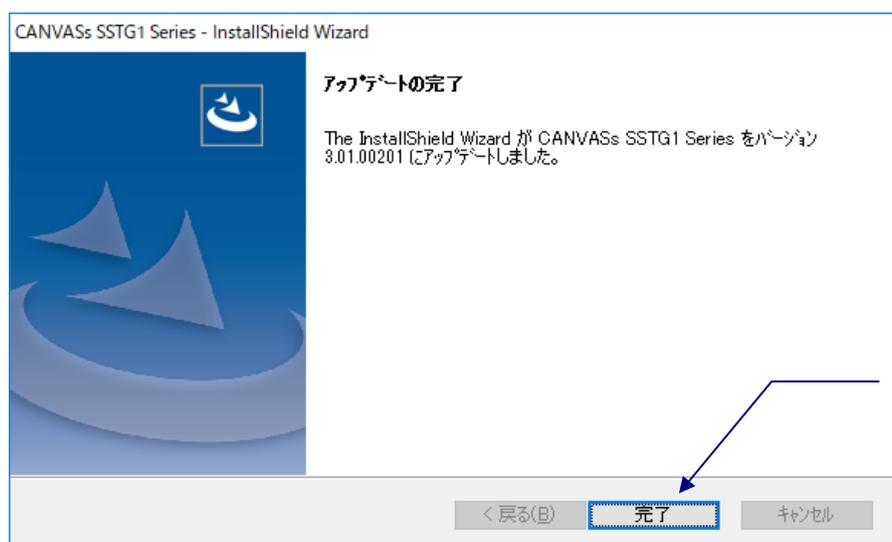
操作を行わず、画面が出るまでしばらくお待ちください。



2. [はい]をクリックします。



3. [次へ]をクリックします。



4. [完了]をクリックします。

 アップデート完了後は必ずパソコンの再起動を行ってください。

## 8) 再インストール時のチケットに関する注意点

【認証版 SSTG1Pro をご利用のお客様へ】

SSTG1Pro 使用中の PC で、いったんアンインストール後に再度インストールして起動すると、認証画面が表示されることがあります。

このとき、現在利用中のチケットとは別に未使用のチケット（ストック）があると、現在のチケットが有効中であっても、ストックのチケットが使用開始されます。

チケットのストックがある状態ではアンインストール→再インストールを行わないよう、くれぐれもご注意ください。

※アンインストールを手動で行わない通常のアップデートであれば問題ありません。

※本件はバージョンに関係なく発生します。本バージョンをお使いでない場合もご注意ください。

## 9) 再インストール後にショートカットキー等の設定を引き継ぐための注意点

Ver. 3.1.2 にて、アンインストール後に再度インストールした場合、アンインストール前にお客様が設定されたユーザー設定やショートカットキー設定が残るよう改修しましたが、Windows の機能強化により、アンインストール時にこれらの設定がリセットされ、初期状態に戻ってしまう場合があることが分かりました。

アンインストールからの再インストール後に設定を確実に引き継ぐには、下記手順を行ってください。

※アンインストールを手動で行わない通常のアップデートであれば問題ありません。

※本件はバージョンに関係なく発生します。本バージョンをお使いでない場合もご注意ください。

### ■Ver3.1.1 以上をご利用の場合

ショートカットキー設定画面からエクスポートし、再インストール後、同画面から設定ファイルをインポートしてください。

※ユーザー設定、フォーマット設定、最終チェック項目フィルタ、最終チェックのチェックワードリストなど、あらかじめリストに保存してあるものは設定が消えることはありません。

### ■Ver3.1.1 未満をご利用の場合

ユーザー設定、ショートカットキー設定を各画面からエクスポートし、再インストール後、同画面から設定ファイルをインポートしてください。

※フォーマット設定、最終チェックのチェックワードリストなど、あらかじめリストに保存してあるものは設定が消えることはありません。